

町への貢献活動 全校で

中里高校生が奉仕活動

5月26日(休)に中里高校の生徒135人が、国道339号線中里バイパスでのごみ拾い、運動公園の側溝清掃や、特別養護老人ホーム「静和園」での奉仕活動に汗を流してくれました。

各学年ごとに3か所に分かれて奉仕活動が行われ、1年生は中里バイパス、2年生は運動公園、3年生は静和園を担当しました。

1年生の担当である中里バイパスの歩道とパルナス前道路のごみ拾いでは、生徒たちが袋とデレキを持って、ていねいに1つずつごみを拾い集め、沿道をきれいにしていました。

2年生は、運動公園の側溝清掃やごみ拾いを実施。陸上競技場を中心に活動が行われ、側溝に詰まった落ち葉をスコップを使ってすくい上げたり、周辺のごみを拾ったりなどを行いました。



【国道中里バイパスでのごみ拾い—1年生】

一方、3年生は静和園で、車いすの清掃や介護の補助、窓ふき、散歩といった、1・2年とはひと味違った奉仕活動を実施。この日は天気がよかったこともあり、施設職員と一緒に入所者の散歩を手伝いましたが、あたたかな陽光も手伝って、高校生も自然と顔がほころんでいました。

この日目にした高校生たちは、不器用ながらも一生懸命活動する姿が目立ち、地域に貢献しようとする自覚が感じられました。



【運動公園の側溝清掃—2年生】



【静和園入所者と散歩—3年生】

